

## XENYX QX1832USB/QX1222USB

Premium 18/16-Input 3/2 and 2/2-Bus Mixer with XENYX Mic Preamps & Compressors, KLARK TEKNIK Multi-FX Processor, Wireless Option and USB/Audio Interface

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および COOLAUDIO は MUSIC Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Tribe Global Brands Ltd. 2018 無断転用禁止。

**限定保証**

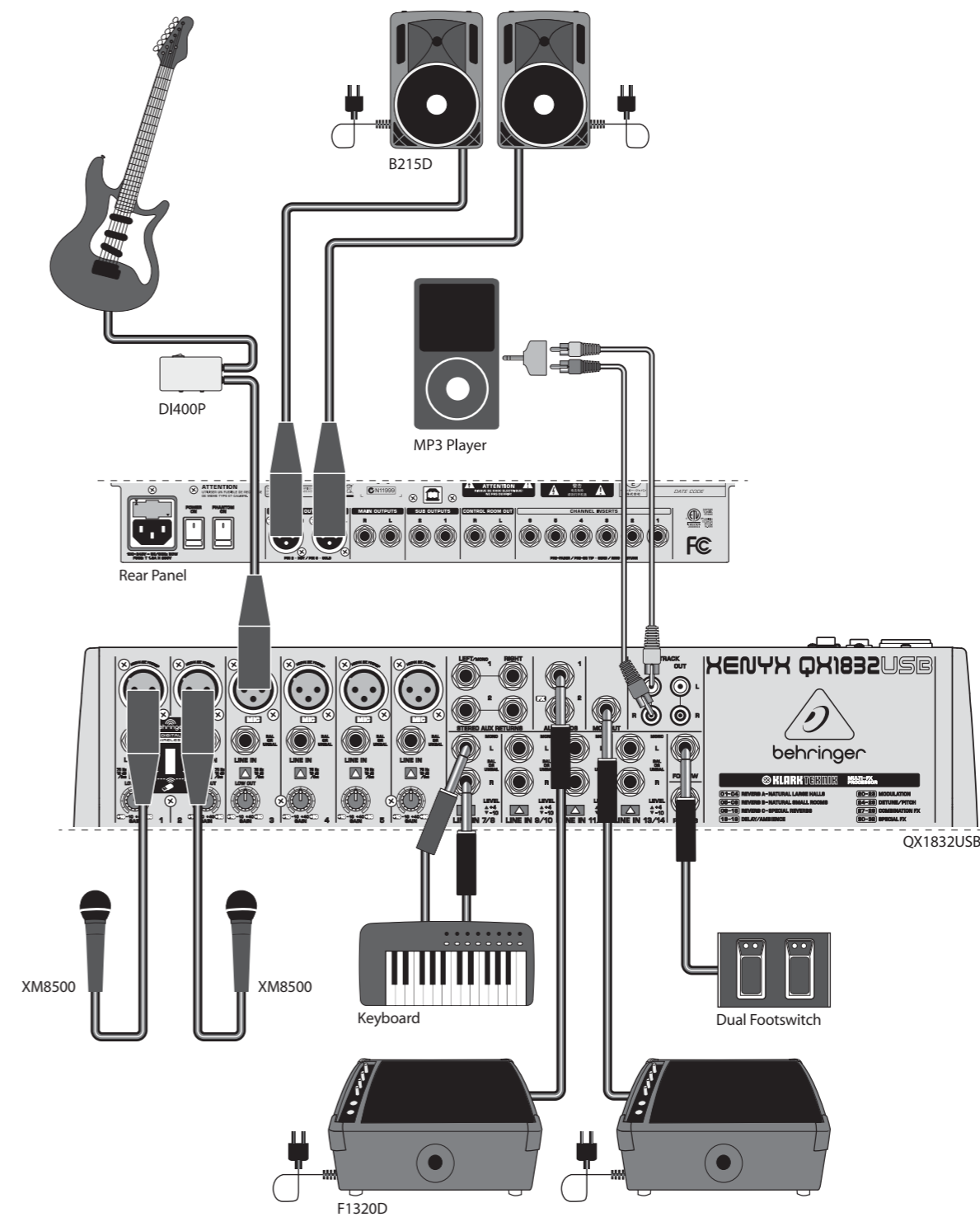
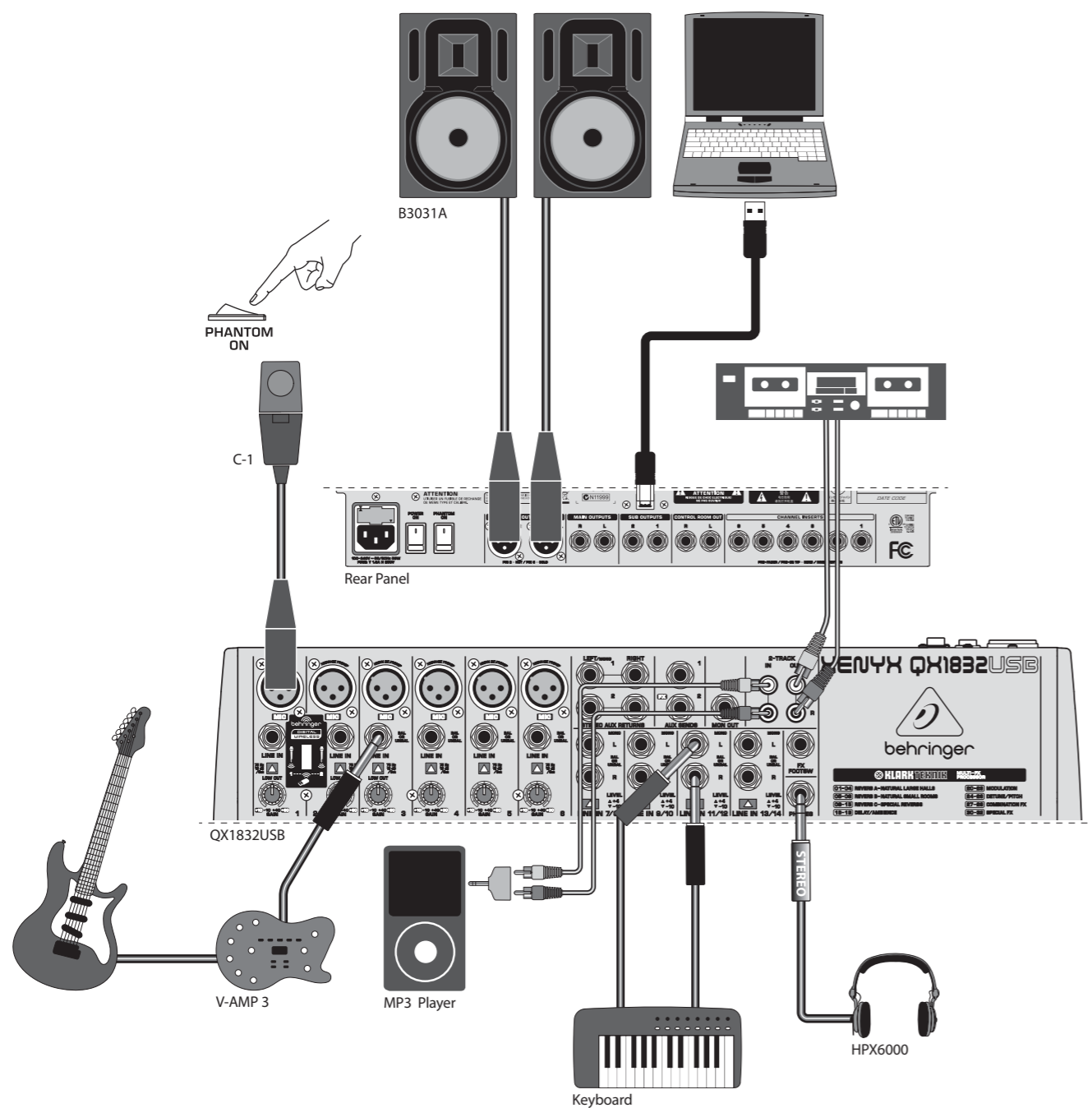
適用される保証条件と MUSIC Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [musictri.be/warranty](http://musictri.be/warranty) にて詳細をご確認ください。

# XENYX QX1832USB/QX1222USB フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

プロジェクト スタジオ

バンドまたは小規模イベント、  
ステージモニター使用



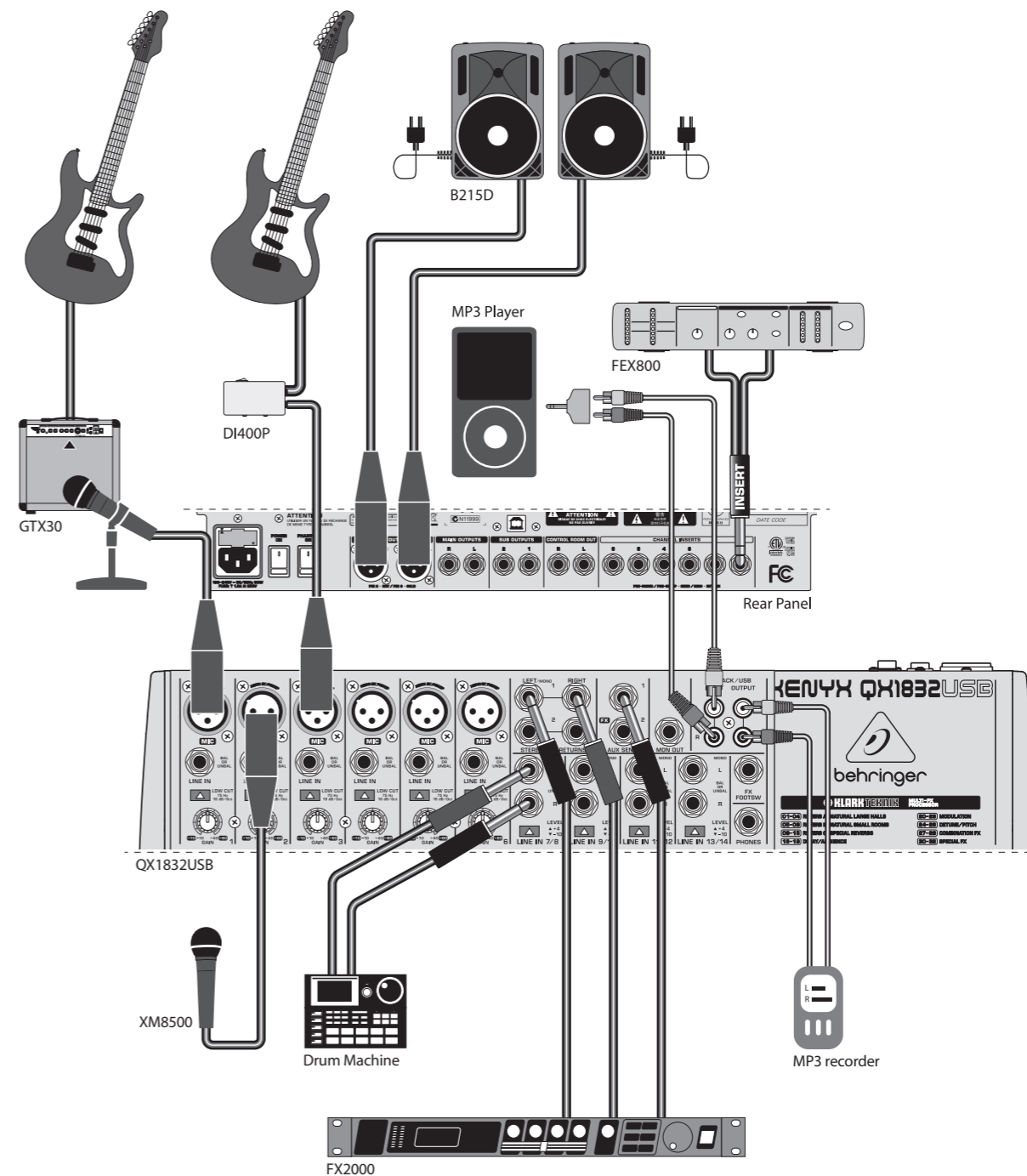
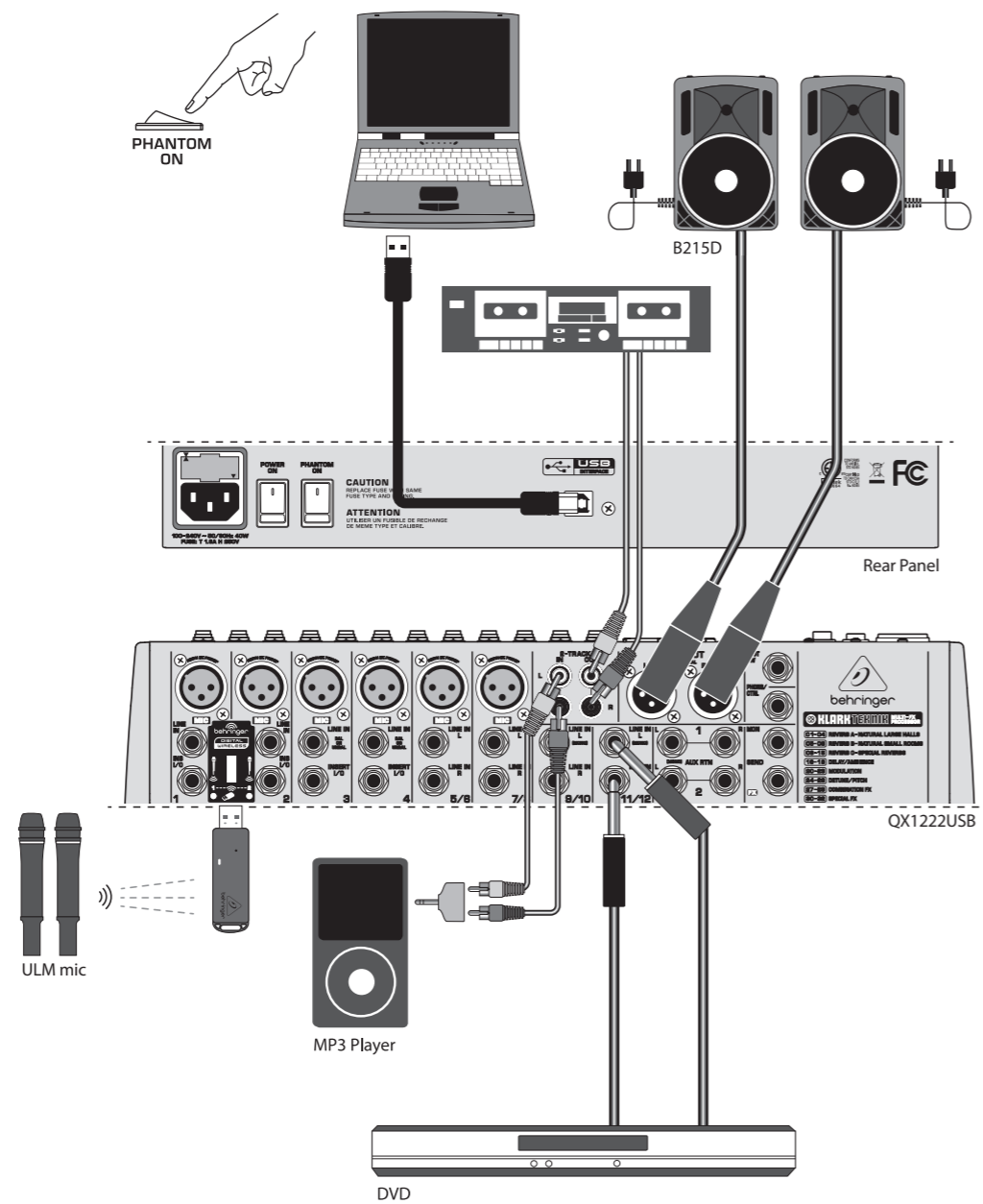
メモ: QX1222USB は主にライブサウンドミキシングのために設計されています。ミックスは簡単にコンピューターへ記録することができますが、このモデルでは録音しながら低レイテンシーモニタリングはできません。

# XENYX QX1832USB/QX1222USB フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

ビジネス / マルチメディアのプレゼンテーション

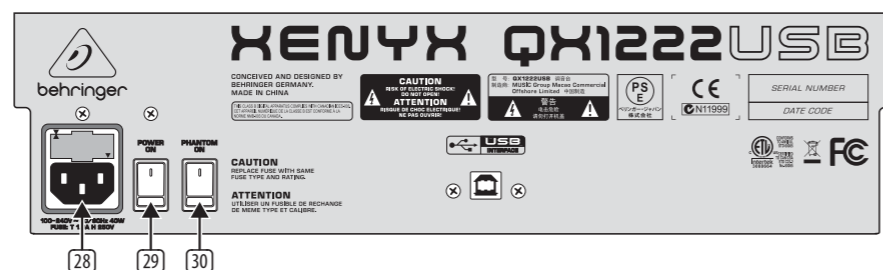
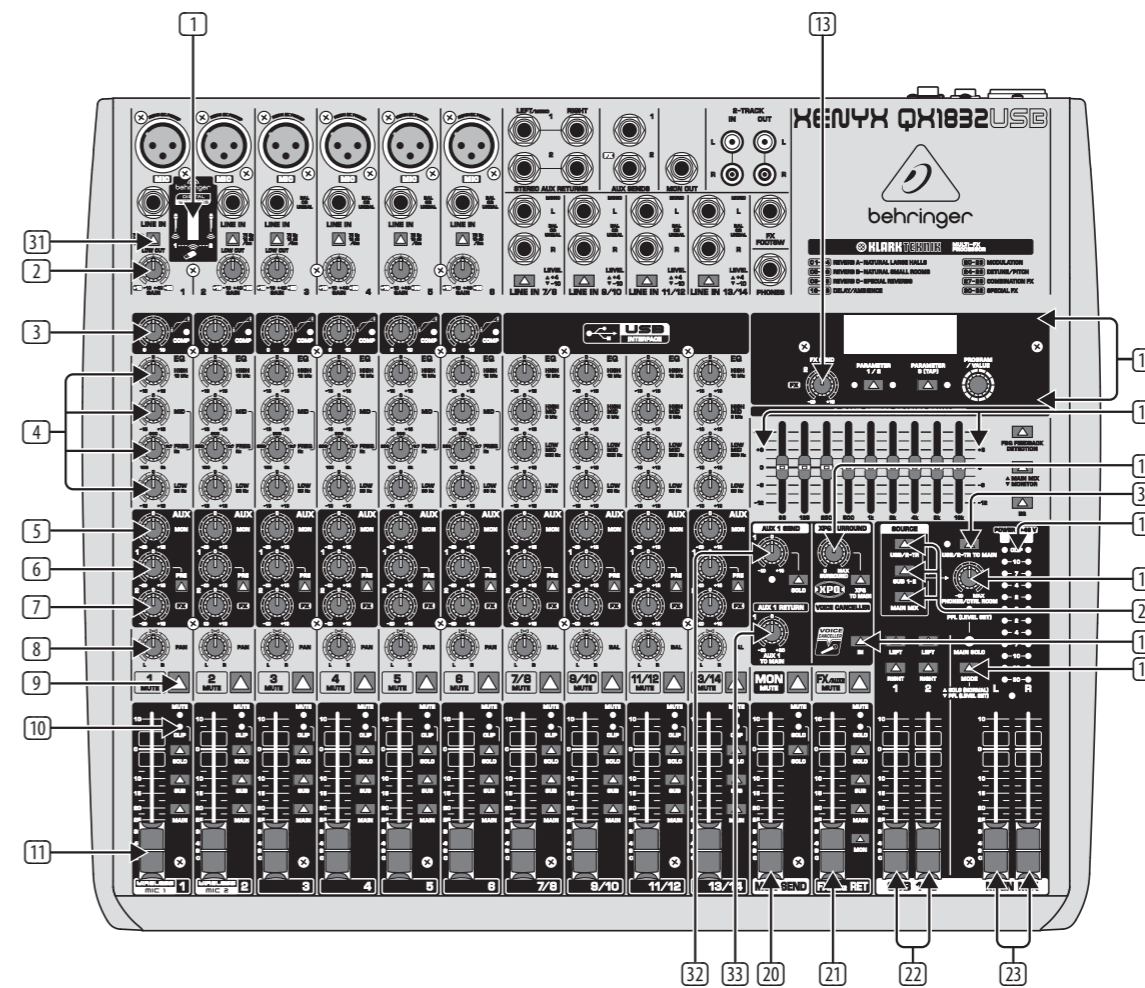
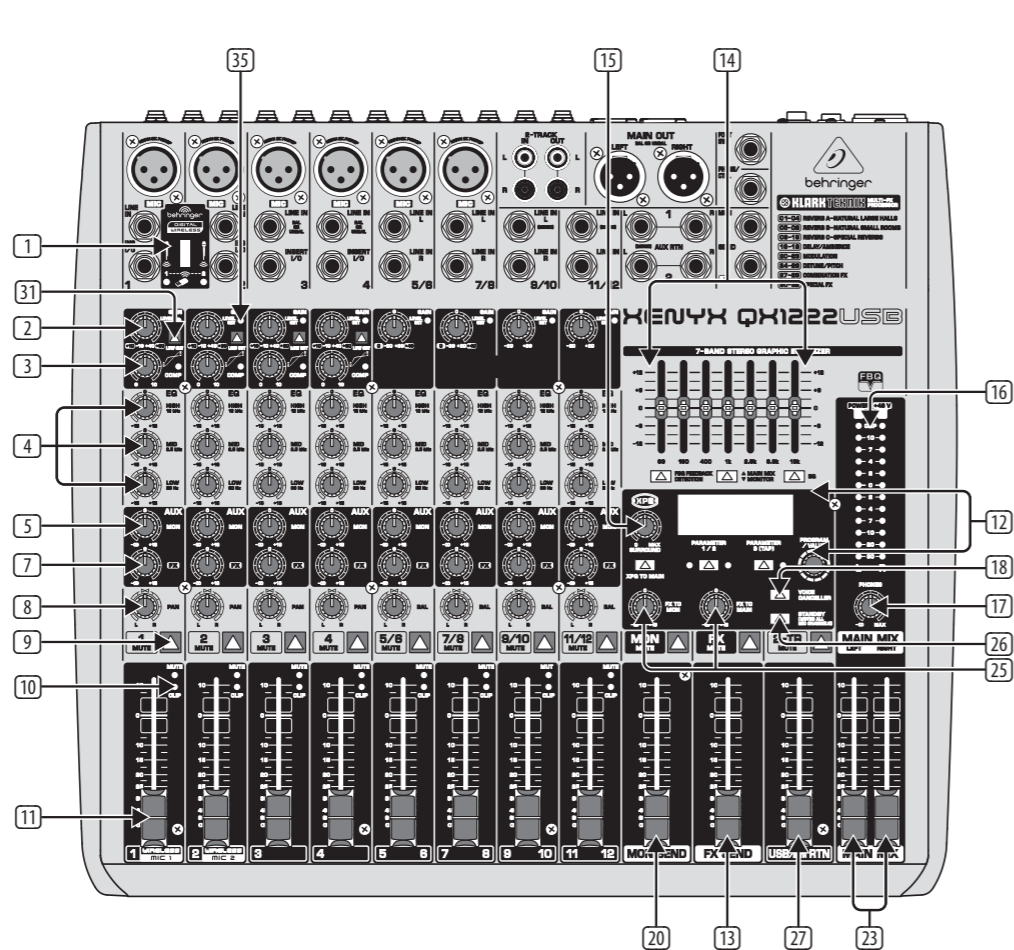
バンドまたは小規模イベント、外部エフェクト使用





# XENYX QX1832USB/QX1222USB コントロール

## ステップ 2: コントロール

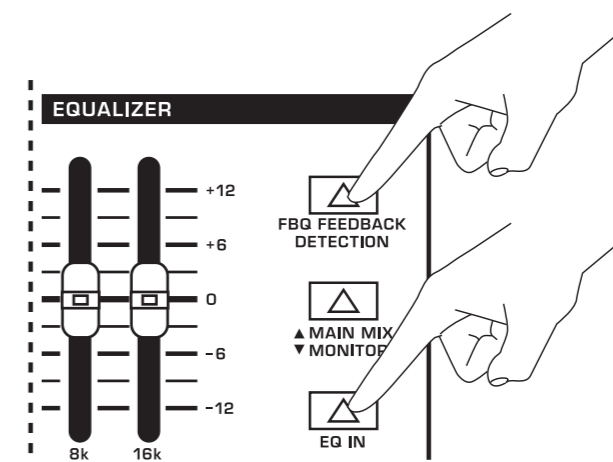


# XENYX QX1832USB/QX1222USB コントロール

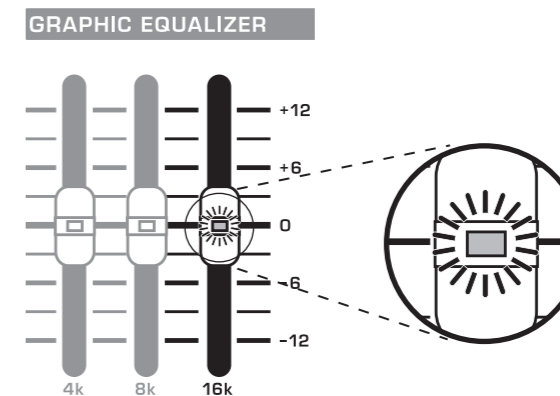
## ステップ 2: コントロール

- ① **USB** ワイヤレスインプットは BEHRINGER ULM ワイヤレスマイク用 USB 受信機を装着します。
- ② **GAIN** ノブは MIC または LINE 入力感度を調整します。
- ③ **COMP** ノブはチャンネルに搭載されたコンプレッサーを調整します。
- ④ **EQ** ノブはチャンネルの HIGH, MID および LOW の周波数を調整します。MID の周波数特性を変更したい場合はチャンネル上の FREQ ノブを調整します (QX1832USB)。
- ⑤ **MON** ノブは MON SEND/OUT 端子にチャンネル信号をどの位送るかを調整します。
- ⑥ **AUX 1** ノブ (QX1832USB のみ) は AUX 1 端子にチャンネル信号をどの位送るかを調整します。AUX 1 を予備のモニターセンドとして使うには PRE ボタンを押してください。
- ⑦ **FX** ノブは内部マルチ FX プロセッサまたは AUX SEND2/FX SEND 端子にチャンネル信号をどの位送るかを調整します。
- ⑧ **PAN/BAL** ノブはチャンネルのステレオ定位を調整します。
- ⑨ **MUTE** ボタンはチャンネルをミュートします。
- ⑩ **CLIP LED** ライトは入力信号がオーバーロードすると点灯します。
- ⑪ チャンネルフェーダーはチャンネルのボリュームを調整します。
- ⑫ マルチ FX プロセッサによってチャンネルの FX ノブを上げることでより選択したサウンドエフェクトをかけることができます。詳細については、マルチ FX プロセッサセクションを参照してください。
- ⑬ **FX SEND** ノブ / フェーダーは内部マルチ FX プロセッサや FX SEND 端子を介した外部エフェクトプロセッサに信号をどの位送るかを調整します。
- ⑭ **GRAPHIC EQ** は特定の周波数を調整します。
- ⑮ **XPQ SURROUND** ノブはミックスのステレオエンハンスメントを調整します。効果を得るには XPQ TO MAIN ボタンを押します。
- ⑯ **VU METER** は MAIN OUTPUT の信号レベルを表示します。
- ⑰ **PHONES / CTRL ROOM** ノブはヘッドフォンやスタジオモニター (QX1832USB) の音量を調整します。
- ⑱ **VOICE CANCELLER** ボタンは、ミキサーをカラオケマシンの様に機能させます。2-TRACK INPUT に入力されたオーディオからステレオセンターに定位するボーカルなどをフィルターアウトさせます。
- ⑲ **MODE** (QX1832USB のみ) ボタンは、各チャンネルを SOLO (ボタン上がった状態) またはプリフェーダー (ボタン下がった状態) として動作するかどうかを決定します。PFL (プリフェーダーリスン) はゲインセットに最適です。
- ⑳ **MON SEND** フェーダーは MON OUT 端子を介したモニタースピーカーなどへ送られる信号量を調整します。
- ㉑ **FX/AUX2 RET** フェーダー (QX1832USB のみ) は内蔵または外部エフェクトリターン量を調整します。
- ㉒ **SUB 1-2** フェーダーは (QX1832USB のみ) SUB OUTPUT 端子の出力を調整します。
- ㉓ **MAIN MIX** フェーダーはミキサーの全体出力を調節します。
- ㉔ **SOURCE** ボタン (QX1832USB のみ) の選択により USB/2-TR、SUB 1-2、MAIN MIX へ PHONES および CONTROL ROOM 端子へ信号を送ります。
- ㉕ **FX TO MON** および **FX TO MAIN** ノブ (QX1222USB のみ) は内蔵のマルチ FX プロセッサまたは外部エフェクトプロセッサからの信号量を調節します。
- ㉖ **STANDBY** ボタン (QX1222USB のみ) はマイクチャンネルをすべてミュートします。
- ㉗ **USB/2-TR RTN** フェーダー (QX1222USB のみ) は 2トラック RCA 入力または USB 入力のレベルを調整します。
- ㉘ 電源入力は付属の電源ケーブルで電源コンセントに接続します。
- ㉙ **POWER ON** スイッチはミキサーをオン/オフします。
- ㉚ **PHANTOM ON** スイッチはコンデンサーマイクを使用するために XLR 入力へ 48V を供給します。
- ㉛ **LOW CUT** ボタンはチャンネルからの不要な低周波数帯域をカットします。
- ㉜ **AUX 1 SEND** ノブ (QX1832USB) はエフェクトプロセッサやモニタースピーカーに送られる AUX 1 の信号量を調整します。
- ㉝ **AUX 1 RETURN** ノブ (QX1832USB) は AUX 1 RETURN 端子にエフェクトプロセッサからのリターン信号量を調節します。
- ㉞ **USB/2-TR TO MAIN** ボタン (QX1832USB) は 2-TRACK と USB 信号を MAIN MIX ヘルディングします。その際 USB/2-TR OUT のレコーディング信号はミュートされます。
- ㉟ **LEVEL SET LED** (QX1222USB のみ) はチャンネルの適正な入力レベル設定に使用されます。

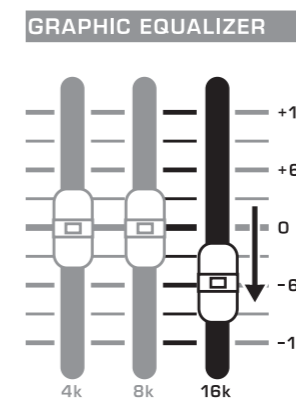
If feedback occurs, press the EQ IN and FBQ FEEDBACK DETECTION buttons. Press the MAIN MIX/MONITOR button to assign the graphic EQ to the mains or monitor speakers.



An LED will light on the EQ slider that corresponds with the feedback frequency.

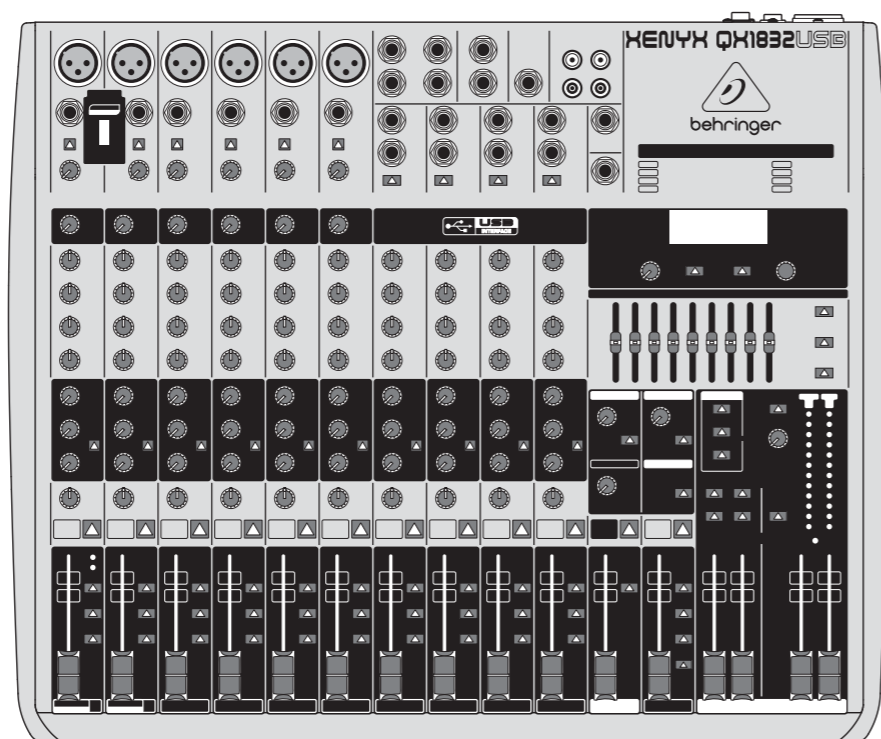


Lower the lit EQ slider until feedback stops.



# XENYX QX1832USB/QX1222USB はじめに

## ステップ 3: はじめに

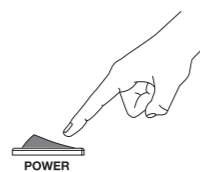


**1** 全ての機器の電源をオフにして下さい。

**2** 適切な電源、オーディオ、USB ケーブルをミキサーに接続します。

**3** 上記のようにすべてのコントロールを設定します。(EQ、PAN / BAL、GRAPHIC EQ スライダーはセンターへ、その他全てはダウンもしくはオフ)。

**4** 本機の電源を入れます。

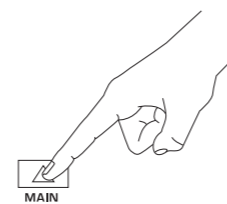


**5** 各チャンネルの GAIN をセットしてください。詳細についてはゲイン設定セクションを参照してください。

**6** MAIN MIX フェーダーと PHONES/CTRL RM ノブのすべてを下げ、PA システムやパワードモニターをオンにします。

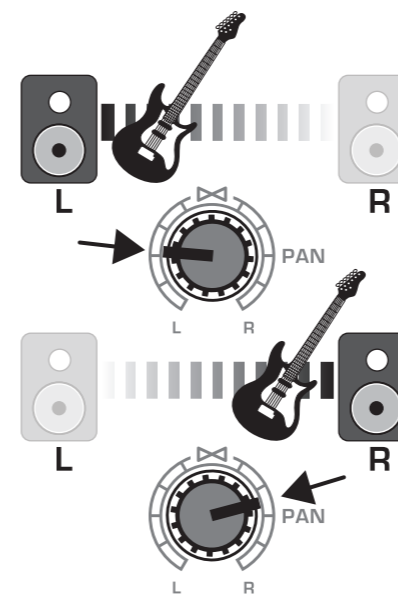
**7** ゆっくりと MAIN MIX フェーダーまたは PHONES/CTRL RM ノブを適切なレベルに上げます。

**8** QX1832USB でメインミックスに各チャンネルを割り当てるために、チャンネル上の MAIN のボタンを押してください。

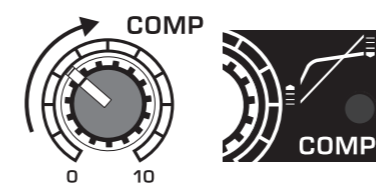


**9** 各 CHANNEL FADER を上げ、マイクまたはその他機材に適したレベルに調節してください。

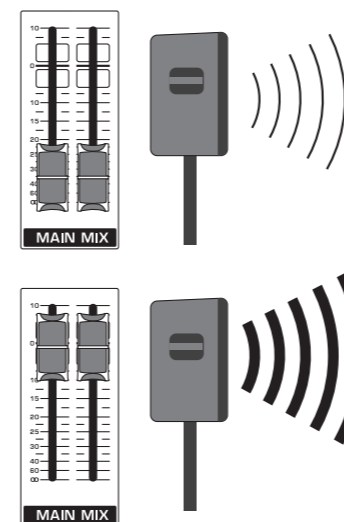
**10** チャンネルの PAN または BAL つまみを回すことで、ステレオ定位を調整します。



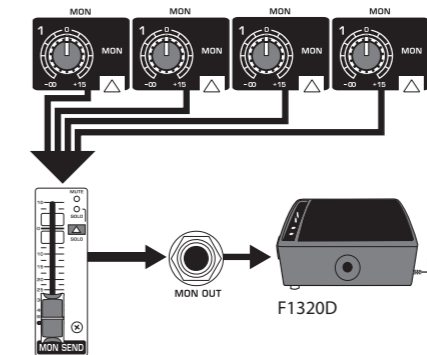
**11** 必要に応じて COMP ノブでコンプレッションを調整して下さい。



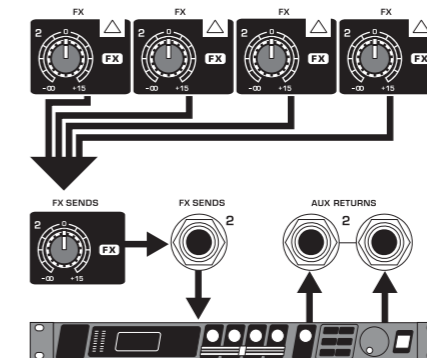
**12** ライブ用途では MAIN MIX フェーダーを上げることで、ミキサーから接続されたパワーアンプやパワードスピーカーの出力全体を調整します。VU メーター上の赤い CLIP LED が点灯する場合、MAIN MIX フェーダーを下げてください。



**13** MON SEND/OUT ジャックに接続されたモニタースピーカーへチャンネル信号を送るにはチャンネルの MON ノブおよび MON SEND フェーダーを使用してください。



**14** FX SEND ジャックに接続されたエフェクトプロセッサへチャンネル信号を送るにはチャンネルの FX ノブおよび FX SEND フェーダー / ノブを使用してください。外部プロセッサからのリターン信号は AUX RETURN ジャックへ接続してください。



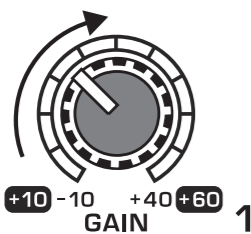


# XENYX QX1832USB/QX1222USB はじめに

## XENYX QX1832USB ゲインセッティング:

- 1 チャンネル 1 の SOLO ボタンを押します。METER が PFL (プリフェーダーリスン) モードで動作ように VU METER に隣接する MODE ボタンを押してください。
- 2 歌ったり演奏したりしながら、チャンネル 1 に接続したマイクや楽器を適正レベルに調整します。
- 3 チャンネル 1 の CLIP LED が点滅するまで、歌ったり演奏したりしながら、チャンネル 1 の GAIN コントロールを調整します。最大ピークが VU メーターの 0 に達するように GAIN コントロールを調整します。調整終了後、チャンネル 1 の SOLO を再び押します。

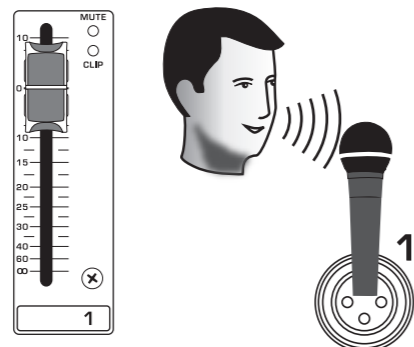
- CLIP ○
- 10 ○
- 7 ○
- 4 ○
- 2 ○
- 0 ○
- 2 ●
- 4 ●
- 7 ●
- 10 ●
- 20 ●
- 30 ●
- L R



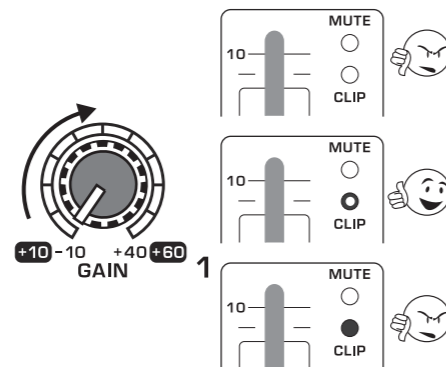
- 4 他のチャンネルも手順 1、3 を繰り返します。ステレオチャンネル 7/8 から 13/14 までの場合、+4/-10 out ボタンの設定から始まります。VU メーターに表示される信号が低すぎる場合は、ゲインをブーストするためにこのボタンを使ってください。

## XENYX QX1222USB ゲインセッティング:

- 1 チャンネル 1 のフェーダーを 0 の位置に合せます。歌ったり演奏したりしながら、チャンネル 1 に接続したマイクや楽器を適正レベルに調整します。

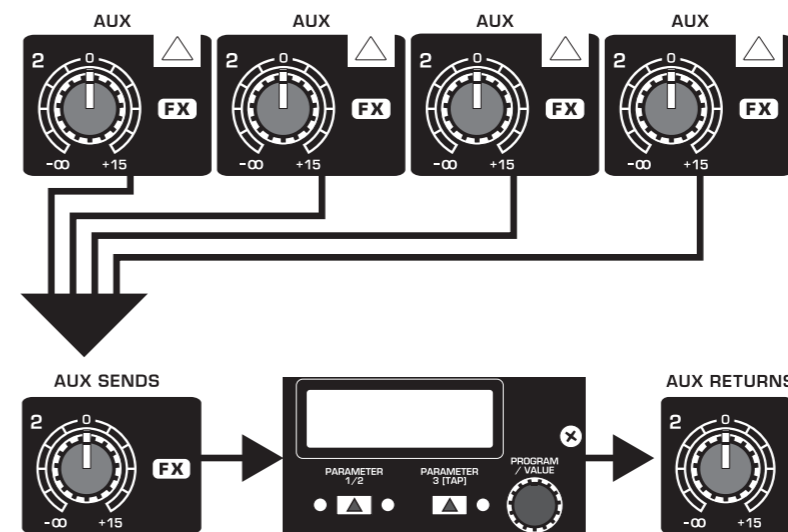


- 2 チャンネル 1 の CLIP LED が点滅するまで、歌ったり演奏したりしながら、チャンネル 1 の GAIN コントロールを調整します。適切なレベルで信号が入力されると、GAIN ノブに隣接する黄色の LEVEL SET LED が点灯します。



- 3 2 から 12 チャンネルも手順 1、2 を繰り返します。

# XENYX QX1832USB/QX1222USB マルチエフェクトプロセッサ



ミキサーには内蔵のプロセッサが搭載されています。チャンネルにエフェクトを追加するには、次の手順に従ってください。

- 1 任意のチャンネルにエフェクトを追加する場合、チャンネル FX ノブを半分程回します。
- 2 FX AUX SEND と FX の AUX RETURN ノブを 0 まで回します。後でそれらは調整することができます。
- 3 PROGRAM ノブを回しエフェクトをスクロールさせます。プリセット番号が点滅します。PROGRAM ノブを押してエフェクトを選択します。
- 4 パラメーター調整 1 および 2:
  - エフェクトを選択した後にプリセット (ステップ 3) 編集モードに入るには PARAM 1/2 ボタンを押してください。PARAM 1/2 ボタンの左側の LED は、パラメータ 1 がアクティブであることを示すため点灯します。
  - PROGRAM ノブを回しパラメータを調整します。
  - 設定から 4 秒後、自動的に編集モードが終了します。また、手動で編集モードを終了したい場合は PROGRAM ノブを押します。
  - パラメータ 2 を編集する場合、PARAM 1/2 ボタンを使用し手順を繰り返します。

- 5 パラメーター調整 3:
  - プリセットを選択した後、編集モード入るには PARAM 3/TAP ボタンを押してください。

- A/B 値のステータスを変更するには、PARAM 3/TAP ボタンを押します。もしくは新規に BPM を設定する場合はリズムに合せボタンを数回タップしてください。

- 設定から 4 秒後、自動的に編集モードが終了します。また、手動で編集モードを終了したい場合は PROGRAM ノブを押します。

- 6 エフェクトが適切なレベルで機能するように各チャンネルの FX ノブを調整してください。ディスプレイのメータに OL (オーバーロード) のセグメントが点灯した場合は、FX AUX SEND ノブ / フェーダーを下げます。

- 7 FX FOOTSW ジャックはシングルフットスイッチ使用の場合 FX バイパス用に、デュアルフットスイッチではバイパスと PARAM 3/TAP 調整 (A/B セレクトやテンポをタップ) に対応します。



# マルチエフェクトプロセッサ プリセットチャート

JP

#	プリセット名	パラメーター1	レンジ	パラメーター2	レンジ	パラメーター3/TAP	レンジ (LED表示)
<b>01 – 04 REVERB A – NATURAL LARGE HALLS</b>							
01	CHURCH	Decay Time	1.00 to 10.00	Room Shape	1 to 50	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
02	CONCERT HALL 1	Decay Time	0.50 to 5.00	Chorus	1 to 30	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
03	CONCERT HALL 2	Decay Time	1.00 to 5.00	Early Refl. Level	-12 to +12	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
04	THEATER	Decay Time	0.40 to 3.00	Depth	0 to 9	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
<b>05 – 08 REVERB B – NATURAL SMALL ROOMS</b>							
05	ROOM 1	Decay Time	0.50 to 5.00	Density	0 to 100	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
06	ROOM 2	Decay Time	0.30 to 2.50	Pre Delay	0 to 50	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
07	ROOM 3	Decay Time	0.20 to 10.00	Pre Delay	0 to 200	Position	FRONT (off) / REAR (on)
08	CHAMBER	Decay Time	0.10 to 3.00	Room Size	1 to 30	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
<b>09 – 15 REVERB C – SPECIAL REVERBS</b>							
09	VINTAGE DIGITAL REVERB	Decay Time	0.40 to 4.50	High Freq. Damping	X 0.25, 0.33, 0.50, Max	Out Select	REAR (off) / FRONT (on)
10	PLATE REVERB 1	Decay Time	0.50 to 3.00	Pre Delay	0 to 40	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
11	PLATE REVERB 2	Decay Time	0.30 to 4.00	Pre Delay	0 to 40	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
12	SPRING REVERB	Decay Time	1.00 to 4.00	Pre Delay	0 to 150	Type	VINTAGE (off) / MODERN (on)
13	GATED REVERB 1	Decay Time	1 to 12	Pre Delay	0 to 400	Type	ALIVE (off) / GATED (on)
14	GATED REVERB 2	Decay Time	1 to 20	Pre Delay	0 to 30	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
15	REVERSED REVERB	Decay Time	1 to 20	Pre Delay	0 to 30	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
<b>16 – 19 DELAY / AMBIENCE</b>							
16	DELAY	Feedback	0 to 100	Mode	Mono, Pingpong, Spread	Delay Tempo	72 to 500 (点滅@テンポ)
17	ECHO	Feedback	0 to 100	Damping	1 to 50	Echo Tempo	72 to 500 (点滅@テンポ)
18	AMBIENCE	Room Size	1 to 30	Tail Gain	0 to 100	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
19	EARLY REFLECTIONS	Room Size	1 to 30	Diffusion	1 to 20	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
<b>20 – 23 MODULATION</b>							
20	CHORUS	Depth	-20 to +20	LFO Speed	0.05 to 5.00	LFO Waveform	TRIANGLE (off), SINE (on)
21	FLANGER	Depth	-20 to +20	Resonance	-100 to +100	Mod Tempo	5 to 400 (点滅@テンポ)
22	PHASER	Depth	-20 to +20	Resonance	1 to 50	Mod Tempo	5 to 400 (点滅@テンポ)
23	AUTO-PAN / TREMOLO	Depth	-100 to +100	LFO Waveform	Triangle, Ramp, Square	Mod Tempo	5 to 400 (点滅@テンポ)

#	プリセット名	パラメーター1	レンジ	パラメーター2	レンジ	パラメーター3/TAP	レンジ (LED表示)
<b>24 – 26 DETUNE / PITCH</b>							
24	DETUNE	Detune	-99 to +99	PreDelay	0 to 300	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)
25	PITCH SHIFTER 1	Note Shift	-12 to +12	PreDelay	0 to 300	Detune	0 (off) / 20 (on)
26	PITCH SHIFTER 2 (DUAL)	Note Shift A	-12 to +12	Note Shift B	-12 to +12	Stereo Spread	NARROW (off) / WIDE (on)
<b>27 – 29 COMBI-FX</b>							
27	DELAY + CHORUS	Delay <> Chorus Balance	-50 to +50	Chorus Depth	-20 to +20	Delay Tempo	75 to 500 (点滅@テンポ)
28	DELAY + REVERB	Delay <> Reverb Balance	-50 to +50	Reverb Decay	1.00 to 5.00	Delay Tempo	114 to 500 (点滅@テンポ)
29	CHORUS + REVERB	Chorus <> Reverb Balance	-50 to +50	Reverb Decay	1.00 to 5.00	Chorus Depth	SOFT (off) / DEEP (on)
<b>30 – 32 SPECIAL FX</b>							
30	LFO LOW-PASS FILTER	Depth	-20 to +20	Resonance	1 to 30	LFO Tempo	5 to 400 (点滅@テンポ)
31	TALKBOX	Vowel 1	A, E, I, O, U	Vowel 2	A, E, I, O, U	LFO Tempo	5 to 400 (点滅@テンポ)
32	CLIPPER DISTORTION	Distortion	1 to 100	Low Cut Filter	50.0 to 500.0	Damping	DARK (off) / BRIGHT (on)

# JP 技術仕様

	QX1832USB	QX1222USB
<b>Mono Inputs</b>		
Microphone inputs (XENYX Mic preamp)	6	
Type	XLR connector, balanced, discrete input circuit	
<b>Mic E.I.N. (20 Hz - 20 kHz)</b>		
@ 0 Ω source resistance	-134 dB / -136 dB A-weighted	
@ 50 Ω source resistance	-131 dB / -133 dB A-weighted	
@ 150 Ω source resistance	-129 dB / -131 dB A-weighted	
Frequency response (-1 dB)	<10 Hz - 150 kHz (-1 dB)	
Frequency response (-3 dB)	<10 Hz - 200 kHz (-3 dB)	
Gain range	+10 dB to +60 dB	
Max. input level	+12 dBu @ +10 dB gain	
Impedance	2 kΩ balanced	
Signal-to-noise ratio	109 dB / 112 dB A-weighted (0 dBu In @ +22 dB gain)	107 dB / 110 dB A-weighted (0 dBu In @ +22 dB gain)
Distortion (THD+N)	0.005% / 0.004% A-weighted	
Phantom power	Switchable, +48 V	
<b>Line Input</b>		
Type	¼" TRS connector, balanced	
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced	
Gain range	-10 dB to +40 dB	
Max. input level	30 dBu	
<b>Frequency Response (Mic In → Main Out)</b>		
<10 Hz - 160 kHz	±3 dB	
<b>Stereo Inputs</b>		
Type	4 x ¼" TRS connector, balanced	4 x ¼" TRS connector, unbalanced
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced	
Gain range	-20 dB to +20 dB	
Max. input level	+22 dBu	
<b>2-Track In</b>		
Type	RCA connector	
Impedance	10 kΩ	
Max. input level	+22 dBu	
<b>2-Track In Equalizer 3-band semi-parametric</b>		
Low	80 Hz / ±15 dB	
Mid	Variable 100 Hz - 8 kHz / ±15 dB	2.5 kHz / ±15 dB
High	12 kHz / ±15 dB	
<b>Equalizer 4-band Fixed</b>		
Low	80 Hz / ±15 dB	—
Low mid	500 Hz / ±15 dB	—
High mid	3 kHz / ±15 dB	—
High	12 kHz / ±15 dB	—
<b>Channel Inserts</b>		
Type	¼" TRS connector, unbalanced	
Max. input level	+22 dBu	
<b>AUX Sends</b>		
Type	2 x ¼" TRS connector, unbalanced	
Impedance	120 Ω	
Max. output level	+22 dBu	

	QX1832USB	QX1222USB
<b>AUX Returns</b>		
Type	2 x ¼" TRS connector, balanced	2 x ¼" TRS connector, unbalanced
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced	
Max. input level	+22 dBu	
<b>Main Outputs</b>		
Type	XLR, balanced	
Impedance	240 Ω balanced, 120 Ω unbalanced	
Max. output level	+28 dBu	
<b>Control Room Output</b>		
Type	¼" TRS connector, balanced	
Impedance	120 Ω	
Max. output level	+22 dBu	
<b>Phones Output</b>		
Type	¼" TRS connector, unbalanced	
Impedance	25 Ω	
Max. output level	+21 dBu / 150 Ω (+25 dBm)	
<b>2-Track Out</b>		
Type	RCA connector	
Impedance	1 kΩ	
Max. output level	+22 dBu	
<b>DSP</b>		
Type	KLARK TEKNIK	
Converter	24-bit Sigma-Delta 64/128-times oversampling	
Sampling rate	40 kHz	
<b>Wireless Input</b>		
USB dongle	Accepts signals from 2 independent Behringer ULM mics	
<b>Main Mix System Data (Noise)</b>		
Main mix @ -∞, channel fader @ -∞	-100 dB / -103 dB A-weighted	-100 dB / -102 dB A-weighted
Main mix @ 0 dB, channel fader @ -∞	-88 dB / -91 dB A-weighted	-86 dB / -88 dB A-weighted
Main mix @ 0 dB, channel fader @ 0 dB	-80 dB / -82 dB A-weighted	-81 dB / -83 dB A-weighted
<b>Power Supply</b>		
Mains voltage	100 – 240 V~, 50/60 Hz	
Power consumption	50 W	40 W
Fuse (100 - 240 V~, 50/60 Hz)	T 1.6 A H 250 V	
Mains connector	Standard IEC receptacle	
<b>USB</b>		
Connector	Type B	
Audio	Stereo in/out	
Converter	16-bit	
Sample rate	48 kHz	
<b>Physical/Weight</b>		
Dimensions (W x D x H)	16.9 x 14.6 x 3.5" 430 x 370 x 90 mm	14.6 x 13.3 x 3.5" 370 x 338 x 90 mm
Weight	10.4 lbs / 4.7 kg	8.4 lbs / 3.8 kg

# その他の重要な情報

## JP その他の重要な情報

### 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** MUSIC Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You